

江別市地域公共交通網形成計画案 第5章における施策イメージ(案)

江別市地域公共交通網形成計画骨子案 ←→ 第5章における施策イメージ(案)

| 課題の解決に向けた基本方針 | 施策項目(方策) | 検討すべき具体的な施策 | 検討状況・計画案記載の方向性 | 実施主体 |
|---|-----------------------|--|--|-----------------|
| 【基本方針1】 持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保に向けた公共交通の利便性・効率性の向上 | バスネットワークの再編 | <ul style="list-style-type: none"> ●路線の再編 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道およびバス路線の乗継性向上に向けた検討 ・鉄道駅(江別・野幌・大麻)への到達性向上に向けた検討 ・公共交通空白地域における新たな公共交通の検討 ●運行ダイヤの見直し <ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学、買物、通院など目的や季節、利用状況の実態等に則した運行ダイヤの検討 ●同一箇所に複数あるバス停の集約と名称統一の検討 | <p>【記載イメージ】</p> <p>①バス路線の見直し ・バス利用実態やアンケート調査等の分析によるニーズを踏まえ、市民の利便性とバス事業者の採算性のバランスを図り、持続可能なバス路線を形成するための見直しを行います。</p> <p>＜基本的な考え方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心とした効率的なバス路線の形成 ・平成27年度実証運行路線を踏まえた路線再編 ・一定の人口の張り付きがあり、近くにバス路線(バス停)がない地域への対応 ・利用者増を見込んだ経路変更 <p>②バス運行ダイヤの見直し ・バス路線の見直しに合わせ、バス車両の保有台数や不足している運転手の状況など、バス事業者の供給体制を踏まえながら、通勤・通学・通院・買物などのニーズやJRとの乗り継ぎを考慮した運行ダイヤへの見直しを行います。</p> <p>③バス路線の既存停留所に係る検討 ・分かりやすいバス路線を形成するため、既存の停留所について、集約の可能性や、名称の統一化または差別化を検討します。 ・バス路線の見直し後に生じる新たなニーズ等を捉え、利用者の増加が見込まれる、または停留所間の距離が離れている区間について、停留所の移設または新設を検討します。</p> <p>④公共交通空白地域における新たな交通手段の導入に係る検討 ・公共交通の利用が著しく不便な市郊外部や、市街地内で近くにバス路線がない地域について、既存公共交通を補完する新たな交通手段(デマンド型交通、タクシー事業の活用等)の導入を検討します。</p> | 江別市 公共交通事業者等 |
| | 運賃制度の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ●各事業者間における乗継割引運賃の導入可能性の検討 | <p>【記載イメージ】 「JR駅前バス停留所における路線バス各事業者間での乗継割引運賃の導入可能性を検討します。」</p> <p>※検討状況 ・路線バス3事業者により共通して実施できる手法について研究・検討しているが、現時点では適切に運用できるものが見当たらない。</p> | 江別市 公共交通事業者等 |
| 【基本方針2】 駅を中心としたコンパクトなまちづくりの推進 | 交通結節機能の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ●交通拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点である鉄道駅(江別・野幌・大麻)等におけるバス路線案内看板等の整備 | <p>【記載イメージ】</p> <p>①交通結節点における情報の充実化 ・江別市では、JR江別駅、野幌駅、大麻駅の3駅が主要な交通結節点となっています。このため、各駅におけるバス案内情報等の充実化により結節機能を強化し、JRと路線バス双方の利用促進、利便性向上を図ります。</p> | 江別市 公共交通事業者等 |
| 【基本方針3】 誰もが安心して移動できる環境づくりの推進 | 公共交通に関する基本的な情報の整理及び提供 | <ul style="list-style-type: none"> ●路線バスの乗り方ガイドの作成 ●分かりやすいバスマップ等の作成 ●統合時刻表の作成 ●広報紙やホームページ等を活用した利用促進のPR活動の継続・強化 | <p>【記載イメージ】</p> <p>①分かりやすいバスマップ等の作成 ・路線バスを利用するうえで基本的な情報となるバス路線や運賃、支払い方法などを網羅した、分かりやすいバスマップ等を作成します。 ・全市的なバスマップのほか、用途(通院、買物、公共施設など)や地域(江別、野幌、大麻など)によって、使いやすいバスマップを作成します。</p> <p>②路線バスの乗り方ガイドに係る検討 ・江別市内を運行するバス事業者の間でも、ICカード導入や小児運賃制度などの状況が異なることから、これらを網羅した乗り方ガイドの作成を検討します。</p> <p>③統合時刻表の作成に係る検討 ・新札幌駅を起点とする複数の路線について、これを運行する複数のバス事業者をまとめた統合時刻表の作成を検討します。</p> <p>④広報やホームページ等を活用した利用促進活動の強化 ・今後のバス路線の維持に向けては、市民が日頃から意識的にバスを利用することが重要であると考えられることから、公共交通の利用促進に関するPR活動や情報提供を、市の広報やホームページを通じ、強化して実施します。</p> | 江別市 公共交通事業者等 |
| | 運行情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ●バスロケーションシステムの導入可能性の検討 | <p>【記載イメージ】</p> <p>○バスロケーションシステム等の導入に係る検討 ・全国的に導入が進んでいるバスロケーションシステム等は、江別市においても路線バスの利便性(特に冬季における待合環境)の向上に有効と考えられます。また、利用者がライフスタイルをバスに合わせていくためにも今後必要になっていくと考えられます。このため、スマートフォンやパソコンなどにより、路線バスの運行状況等が分かるシステムの導入を検討します。</p> <p>※検討状況 ・バスロケは、路線バスの利便性(特に冬季における待合環境)の向上に有効と考えられ、また利用者がライフスタイルをバスに合わせていくためにも今後必要と考えられる。 ・一方で、近隣自治体との連携など広域的な視点や費用面など課題も多いため、引き続き、導入に向けて検討する。</p> | 江別市 公共交通事業者等 |

江別市地域公共交通網形成計画骨子案 ← 第5章における施策イメージ(案)

| 課題の解決に向けた基本方針 | 施策項目（方策） | 検討すべき具体的な施策 | 検討状況・計画案記載の方向性 | 実施主体 |
|---|---|---|---|-------------------------------------|
| <p>（つづき） 【基本方針3】 誰もが安心して移動できる環境づくりの推進</p> | <p>待合環境の整備</p> | <p>●商業施設と連携した待合環境の整備に関する可能性の検討</p> | <p>【記載イメージ】</p> <p>○商業施設等と連携した待合環境の整備に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> バス待合環境の整備のため、バスロケーションシステム等の導入検討に合わせ、路線バスの運行状況等を表示するディスプレイを商業施設等に設置することを検討します。 | <p>江別市 公共交通事業者 企業 等</p> |
| | <p>バス路線の除排雪強化</p> | <p>●バス路線の重点的な除排雪</p> | <p>【記載イメージ】</p> <p>○バス路線に配慮した除排雪</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬期間における江別市内の道路は、路肩の堆雪等により車道幅が狭くなる場合があり、これが路線バスの運行遅延につながる原因のひとつになっています。このため、バス路線に配慮した除排雪により、冬期間における路線バスの運行環境の維持、改善に努めます。 | <p>江別市 国 北海道</p> |
| | <p>子育て世代や高齢者の移動支援</p> | <p>●妊婦や子ども連れ利用者へのサポート制度の検討</p> | <p>【記載イメージ】</p> <p>○妊婦や子ども連れ利用者への支援に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦や小さな子供を連れた親が通う施設・場所に着目した、路線バスの利用ガイドを作成することで、利用促進、利便性向上を図ることを検討します。 <p>※検討状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな子供を連れて路線バスに乗ることは、親として大変だという実態があるが、一方で、保健センターのように、妊婦や小さな子供を連れた親が通う施設もある。 このため、特定の施設・場所に着目した、路線バスの利用ガイドを作成することについて、引き続き検討する。 | <p>江別市 公共交通事業者 等</p> |
| | <p>子育て世代や高齢者の移動支援</p> | <p>●高齢者運転免許証返納時サポート制度の検討 ●高齢者バス利用助成事業による利用促進 ●低床バスの導入促進</p> | <p>【記載イメージ】</p> <p>①高齢者の移動、外出支援に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、高齢化の進行等により、自家用車を利用することができない市民の増加が予想されます。このため、高齢者の移動、外出を支援する制度（運賃割引、タクシー事業の活用等）の導入可能性について検討します。 <p>※検討状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通において、高齢者向けの施策の導入に関する声、希望が多い。 路線バス3事業者により共通して実施できる手法について研究・検討しているが、現時点では適切に運用できるものが見当たらない。 市として財政負担が大きく、この面からも慎重な検討が必要。 <p>②誰にでも利用しやすい車両の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 世代や身体の状態に関わらず、誰にでも利用しやすい公共交通を目指すため、車両更新などの機会に合わせ、低床型車両やユニバーサルデザイン車両の導入に努めます。 | <p>江別市 公共交通事業者 等</p> |
| <p>【基本方針4】 クルマに頼りすぎないライフスタイルの推進</p> | <p>モビリティ・マネジメント（MM）※の推進</p> <p>※「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通など多様な交通手段を適度に利用する状態」へ変えていく取り組み</p> | <p>●継続的な公共交通利用促進・啓発キャンペーン・イベント等の実施検討</p> <p>●環境教育等と連携した児童・生徒への公共交通利用啓発</p> <p>●転入者に向けた公共交通利用啓発</p> <p>●住民に対する出前講座等による公共交通利用啓発</p> <p>●運賃と施設利用料を一体とした企画乗車券等の検討</p> | <p>【記載イメージ】</p> <p>①継続的な利用促進・啓発活動に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通を今後も持続させていくためには、市民の公共交通に対する理解が不可欠です。このため、地域のイベント等と連携した利用促進・啓発活動を継続的に実施していくことを検討します。 公共交通の利用促進策として、運賃と市内施設の利用料等を一体とした企画乗車券等について検討します。 <p>②環境教育等と連携した児童・生徒への啓発活動の実施に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒は、公共交通における将来の利用者であることから、環境教育等と連携した公共交通の利用啓発活動の実施について検討します。 <p>③転入者に向けた利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 転入者は、江別市における日常の移動方法がまだ習慣づけられていない場合が多いと思われる、利用促進活動の対象として効果的であると考えられます。このため、転入時に公共交通に関する情報提供を行うことで、利用促進を図ります。 <p>④市民に対する出前講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通を今後も持続させていくためには、市民の公共交通に対する理解が不可欠であるため、市民の希望に合わせた出前講座等を実施します。 | <p>江別市 公共交通事業者 等</p> |
| <p>【基本方針5】 公共交通を支える仕組みづくり</p> | <p>補助制度の見直し</p> | <p>●路線バス事業者等への補助制度の見直し</p> | <p>【記載イメージ】</p> <p>○公共交通事業者等に対する江別市の補助制度</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで、江別市では、市内完結バス路線の運行費用の一部を補助してきましたが、市民の利便性と公共交通事業者等の採算性のバランスを図りながら持続可能な公共交通網を維持していくためには、今後も江別市による補助が必要であると考えられます。 このため、バス路線運行費用に係るバス事業者への補助を継続するとともに、新たな交通手段の導入に係る運行主体への補助などについて検討します。 | <p>江別市</p> |